

ウメの和名は烏梅の中国発音「ウメイ」から！？

ウメ (バラ科)

Prunus mume Sieb. et Zucc.

部位	未熟果を燻蒸したもの
生薬名	烏梅 (ウバイ)
成分	クエン酸、リンゴ酸、酒石酸 オレオノール酸 (トリテルペノイド)
薬理	収れん作用、殺菌作用
薬能	収れん薬 (固渋薬)
漢方	杏蘇散 など



日本人には馴染み深い樹木の一つであるが中国の四川省から湖北省の原産です。モモと同様に中国文化と共に渡来し、栽培されたといわれています。古来より食あたりの下痢には「梅干」が使われてきました。万葉集にも数多く詠まれ、花の香りや色に気品を感じませんか。江戸時代に和歌山県、田辺藩が作物の育ちにくい荒れ地に栽培を推奨し、保護政策、免税を行ったために現在でも名産品として全国生産の6割を収穫しています。

オウレン (キンポウゲ科)

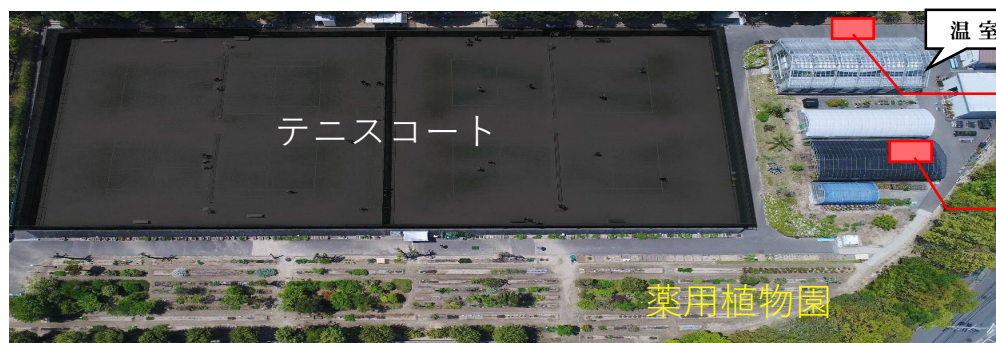
良薬口に苦し！センブリよりも苦いかも？

Coptis japonica Makino

部位	根茎
生薬名	黄連 (オウレン) 局方収載
成分	ベルベリン、パルマチン、コプチシン (ベンジルイソキノリンアルカロイド)
薬理	抗炎症作用、止瀉作用、抗菌作用
薬能	清熱解毒薬
漢方	黄連解毒湯、半夏瀉心湯など



本州、四国の山地の林床に見られる多年草で、2~3月に1cmほどの白くてかわいい花を咲かせます。かつては、鳥取県、兵庫県、福井県や石川県などでひろく栽培されていました。収穫までに5~15年かかり、大変高価な生薬です。有名な漢方薬に配合されていますが、凄く苦いですよ。一方、成分のベルベリンは、抗菌・抗炎症作用を有することから点眼薬にも配合されています。



ホームページでも
ご覧いただけます